

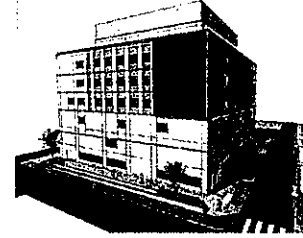
CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	田辺中央病院 新館	階数	地上7F
建設地	京都府京田辺市	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	110 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2018年1月20日
敷地面積	1,776 m ²	作成者	中村真紀
建築面積	1,165 m ²	確認日	
延床面積	7,178 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.9</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建築物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Qのスコア= 2.7		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
Q1のスコア= 2.8	Q2のスコア= 3.0	Q3のスコア= 2.4
LRのスコア= 3.1		
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア= 3.2	LR2のスコア= 3.1	LR3のスコア= 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
<p>地域への安定した医療提供の維持と救急や入院など近年求められる医療機能の強化を図ることができる医療環境の確保に重点を置いて計画しました。</p> <p>また、近隣に対してもできるだけの配慮をしました。</p>		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<p>空気の吹出方向に配慮し、特に病室や診察室では患者さんが不快にならないように心がけています。また、方位によってエリア分けし、温度調整が行えるように配慮しました。病室の主照明は、各ベッドの壁付け照明とし、各自が制御できるようにしました。</p>	<p>建物内は、EVや階段のコア部分以外のコンクリート壁を極力少なくし、ラーメン構造とすることで、将来的な改装などに対応できる構造としています。災害時にも医療提供が可能となるように、非常用発電(3日程度)と、水(受水槽+高梁水槽で2日程度)を備えています。</p>	<p>建物外観は、地区計画に適した色彩を採用します。敷地内には外灯を適宜配置し、防犯性に配慮します。京都府および京田辺市の条例に則り、屋上緑化を施します。</p>
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<p>外壁断熱、ペアガラス、全熱交換器等を使用し、省エネルギー化に配慮しています。京都府の条例に則り、再生可能エネルギー設備として太陽光発電を設置します。</p>	<p>自動水栓や節水型便器を採用し、節水に配慮しています。</p>	<p>空調室外機を屋上に設置し、近隣への騒音に配慮しています。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい